《インタビュー》衆議院香川3区 笹井たかし候補 ①

Q1）衆議院3補選の所感と、総選挙への意気込みは。

3補選は、裏金などの金権腐敗、消費税の増税、社会保障費負担増、物価高騰など暮らしの問題も争点で、自民党は全ての選挙区で全敗しました。物価高騰などで生活が苦しいなかで、裏金事件で真相究明もせず、責任をとらない自民党に国民の怒りが爆発した結果だと思います。やはり、野党共闘の再構築なくして、政権交代はあり得ない、と強く感じた選挙でした。自公政権の「アメリカ言いなり、大企業べったりの政治」では、国民のいのち・暮らし・平和を守ることはできないと、全力で訴えます。日本共産党の諸先輩がたは国民の暮らし・いのち・財産・健康を守るために、弾圧により命を落としながら、文字通り命がけで権力とたたかってきました。私も歴史を引き継いで自民党政治と対峙していきます。

Q2）香川3区では自共対決ですが、どう選挙戦を戦いますか。

自公政治と戦えるのは共産党だけです。自民党政治を変えたい人に日本共産党の笹井たかしを支持してもらえるようにします。自民党政治は岸田政権になり、強権政治がひどくなり、閣議決定を連発して物事をすすめ、国会を軽視し内閣だけで政治を進めています。国民の意見が全く反映されない今の政治を許せません。いまの政治に、有権者は「おかしい」と感じている方は多くいます。しかし私が各地でお聞きするのは「どの政党に投票したら、暮らしが良くなるのか解らない」という声もよく聞きます。30年に及ぶ経済の停滞（農業・漁業、社会保障の改革、地方の政治など）を具体的に説明して、それに対して共産党の「経済再生プラン」で支持を訴えて行きます。

農業の再生《香川の現場レポート①》食料安全保障・食料自給率

農民連　植村　隆昭

長く農業をしていると、いろんな出会いがあります。ある時医療分野で仕事をしている青年が、農業をしたいのでアドバイスが欲しいと訪ねてきた。現在の収入を聞くと高給。農業でそれなりの収入を得るまでには時間がかかるよと前置きをして、なにを作りたいのか聞くと分からないという。先ずは作りたい作物を決め、次に全国を視野に、その作物の名人を探し弟子入りをすることだとアドバイス。そうやって何人かの青年に会ったが報告に来た者はまだいません。

政府の農業政策は大規模化というが、そんなものは当てはまるとしたら北海道の話であり、四国のように山間部の多い地域では小面積で稼げるスタイルでしかない。その上、米や麦、レタスや大根など年一回しか収穫できないものは効率が悪いので敬遠。アスパラガスやトマト、キュウリ、ナスなどのように高い栽培技術で際限なく複数回収穫でき高収量が狙えるもので勝負すると可能性があります。

第一次産業で生産される商品の値段は市場の競りで決まるという特殊性があります。生産原価を商品に反映させるのが出来ないのです。これが工業製品と決定的に違う点です。肥料や農薬、施設栽培であれば建設費がかかります。暖房をすると大掛かりな設備と燃料が必要です。それらが円安で大きく値上がりしました。農家の努力の限界を超えています。欧米の農家は国策で経営が守られています。例えば、経営面積や生産量などに補助金があります。フランスでは農産物価格に生産費が反映できるような法律が整備されました。根底には有事に備え自国の食料自給率を高めることです。フランスの国民もそれを受け入れているのが素晴らしい。

我が国の食糧自給率は38%、農家の平均年齢は68歳、10年たてば農業は成り立たなくなります。いまに食糧不足の時代が来ることが予想されます。

地球の息吹⑥

瀬戸内　大地

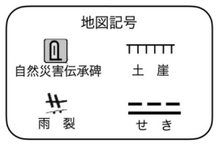
◎自然災害伝承碑「さぬき市津田町編」

六月七日に四国地方は梅雨入りしました。大雨による災害が発生しないことを願いますが、過去の教訓から災害への備えをすることも大切です。

☆インターネット上の地理院地図では、自然災害に関する情報が確認できます。

☆津田町松尾地区には「忘れじの標」が地図記号として表示されています。この碑には過去の土砂災害の状況が以下のように記されています。「一九七六年九月十日から十二日まで西日本に停滞した台風十七号は、旧津田町内に983㎜（香川県の年間降水量は1150㎜）の豪雨をもたらした。瀬ノ下地区の山崩れ、松尾地区の土石流をはじめ北山地区各所で災害が発生し、死者8名、負傷者4名、家屋全半壊29戸、浸水家屋730戸など甚大な被害を受けた。」

☆地図にはこれ以外にも自然災害に関連する情報が記されています。「雨裂」は雨水の流れによって地表面にできる谷状の地形、「土崖」は土砂がくずれたりしてできた急斜面、「せき」は上流から流入してくる土砂を貯留するための砂防ダム等を表示しています。



☆QRコードをスマホで読み込むと松尾地区の地理院地図が表示されます。自然災害伝承碑の記号をタッチすると伝承碑の写真が表示され、更にタッチすると災害に関する伝承内容が表示されます。また、指定緊急避難場所を選択すると表示しますので、平時から最寄りの避難所を確認しておくことも必要です。

避難指示が発令された場合は早めの避難が大切です。もし災害が発生しなかったとしても、よかったとポジティブに捉えましょう。避難行動は一番の訓練であり、空振りではなくて貴重な素振りとなるからです。

勇気りんりんエッセイ

四国ブロック国政対策委員長　白川よう子

急激に暑くなった四国路で、「四国新緑キャラバン」が続いています。

今週は香川や徳島に入りました。小豆島では「たこ焼きを食べながら ざっくばらんに語るつどい」を開催。「私、たこパ初めてなので、楽しみに来ました！」と語った女性は、自分で焼くものだと思って参加してくれましたが、実は本場大阪出身で学生時代にたこ焼き屋でアルバイトをしていたという、支部の真ん中世代の方がプロ並みの手つきで次々と焼き上げてくれ、私たちは美味しい熱々たこ焼きを食べながら、政治や暮らしのことを語り合いました。

徳島県に入る前日、ネットニュースで飛び込んできた「徳島市議会議長に日本共産党の船越智子市議」という記事。真相がわからないままSNSでも拡散され「いいね」を押すべきかどうか悩みました。翌日の徳島市でのつどいで船越市議からリアルな報告がありました。市民も驚いたけれど、一番びっくりしたのは当の本人。党徳島市議団は5人ともそろって別の方に投票していたのです。徳島市は先日、新しい市長が誕生しましたが、反市長派の議員が船越市議を議長に押し上げました。市民の願い実現の立場で頑張ってきた市議団の発言の機会を弱めようとして、こういった画策が進められたのではないかと憶測します。しかし相手の側にどんな魂胆があろうと、議長という大切な役割をしっかりと担い、党と市議団は市民の皆さんと共に船越新議長を支え、市民のための市政を作るために頑張ります。